

令和3年 第2回定例会

# 岩見沢市教育委員会会議録

令和3年2月17日 開会

令和3年2月17日 閉会

岩見沢市教育委員会

# 令和3年 第2回定例会

## 岩見沢市教育委員会会議録

(令和3年2月17日)

### ○本委員会に付議した議件

- 1 報告第4号 教育長の一般経過報告について
  - 2 議案第2号 令和3年度教育委員会関係予算について
  - 3 議案第3号 令和2年度教育委員会関係補正予算について
  - 4 議案第4号 令和3年度教育行政方針の設定について
- そ の 他

### ○本委員会に出席した者

教 育 長	三 角 光 二
委 員	秋 山 信 也
委 員	杉 野 幹 夫
委 員	菊 池 亜 希
委 員	遠 藤 か ず み

教 育 部 長	井 筒 亨
社会教育・子育て支援担当次長	所 美 穂 子
学 校 教 育 課 長	戸 沼 貴 志
指 導 室 主 査	中 井 一 徳
学 校 給 食 課 長	田 公 寿 幸
生涯学習・文化・スポーツ振興課長	白 石 丈 人
教 育 施 設 課 主 幹	江 末 智 博
図 書 館 長	中 川 和 彦
緑陵高等学校事務長	杉 田 操
事務局学校教育課総務係長	石 川 貴 規
事務局学校教育課総務係	岩 端 浩 太

午前10時00分 開会

○三角教育長 それでは、ただ今から令和3年第2回教育委員会定例会を開催いたします。

本日の署名委員につきましては、杉野委員さんをお願いいたします。

初めに、日程番号1、報告第4号 教育長の一般経過報告について 私から説明いたします。

1月14日から2月11日までの経過報告となります。

1月15日、第40回新型コロナウイルス感染症対策本部会議に出席しております。

24日、栗沢町文化協会創立50周年記念式典に出席しております。感染症対策で、来賓並びに出席者を限定しての開催となっております。

28日、北海道水泳連盟強化指定選手を対象にアスリート奨励金を交付しております。

2月1日、道教委の指導が不適切である教員の認定等に関する意見聴取会において、対象者認定に係る意見を求められ、意見表明しております。

5日、総務常任委員会において、パン給食の実施に向けての進捗状況、並びに社会体育施設の個別の施設計画について説明しております。

8日、岩見沢市青少年問題協議会第2回会議に出席し、挨拶しております。

以上で、私からの一般経過報告を終わります。

委員の皆様からご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 ご意見やご質問等がなければ、本報告については終了いたします。

続きまして、議案に対する提案理由について説明を求めます。

○井筒教育部長 議案第2号 令和3年度教育委員会関係予算について。

令和3年度予算の内示があったことに伴い、市議会の議決を経るべき教育委員会関係予算について、ご意見を伺うものであります。

議案第3号 令和2年度教育委員会関係補正予算について。

市議会の議決を経るべき令和2年度教育委員会関係補正予算(案)について、ご意見を伺うものであります。

議案第4号 令和3年度教育行政方針の設定について。

令和3年度の教育行政を進める上での基本的な考え方、方向性を示すものであります。

以上です。

○三角教育長 それでは、日程番号2、議案第2号 令和3年度教育委員会関係予算についてを審議いたします。

説明をお願いいたします。

○井筒教育部長 令和3年度教育委員会関係予算案につきまして、私のほうから全体的な話をさせていただきたいと思っております。

机上配付させていただいております予算規模という資料をご覧いただきたいと思っております。

一般会計につきましては、527億円、令和2年度より27億円5.4%の増ということで、予算規模的には過去最大の規模になるということであります。一般会計で527億円、特別会計で203億8,800万円、企業会計222億8,400万円、全て合わせますと953億7,200万円という予算規模になっております。

2枚目の資料をご覧ください。一般会計予算の概要です。それぞれ歳入、歳出の内訳が記載されておりますが、歳出についてご説明をいたします。

右側歳出の上から三つ目、民生費が総額の約3割を占めておりますが、その民生費の中に、教育委員会が所管するえみふる、児童館、保育園、こども園関係で、約18億5,000万円の予算が組まれております。

下から3番目の教育費予算につきましては、46億4,000万円、今年度より4億6,000万円、11.2%増の予算が組まれております。

教育費の46億4,000万円と民生費に含まれる教育関係の18億5,000万円を合わせて64億9,000万円となり、一般会計全体527億円の12.3%に相当します。先ほど申し上げました特別会計の中の緑陵高校費5億8,000万円を加えますと、教育委員会が所管します全ての予算となるわけですが、教育費の46億4,000万円の中には、高等学校費への繰出金として5億円が計上されておりますので、ダブルカウントになりますことから、その分を差し引きました65億7,000万円が教育委員会全体の予算となります。

同様に計算いたしました令和2年度予算では61億2,000万円ということで、4億5,000万円、7.4%の増となっております。

続く資料につきましては、各課長のほうから説明させていただきます。

○戸沼学校教育課長 それでは、学校教育課の令和3年度予算について、ご説明させていただきます。

昨年12月の教育委員会定例会におきまして、令和3年度の予算見積についてご協議いただきましたが、その後、財政部局の査定、市長とのヒアリングを経て内示がございまして、主な変更部分をピックアップしてご説明したいと思っております。

資料1-1ページをご覧ください。

最初に、ICT教育推進事業です。本事業は、予算見積の段階におきまして、教育情報システム化推進事業の一部として計上していたところですが、GIGAスクール関連経費を一つの事業として新設し、整理いたしました。

この事業では、岩見沢市GIGAスクール構想推進計画に基づき、ICTを有効活用した授業づくりを推進するため、タブレット端末及び学校ネットワークの安定的な維持管理、そして授業で使用する大型提示装置の整備、さらには教員のICT活用スキルの向上を目指した研修など、7,781万5,000円を計上しております。

次に、教育用コンピュータ整備事業ですが、小中合わせまして8,251万5,000円を要求しておりましたが、パソコン教室のICT関連機器の整備経費を精査いたしまし

て、6,932万1,000円の予算額となったところです。

続いて、学校管理事業になりますが、4億5,015万7,000円を要求していたところ、消耗品費の精査、学校用施設備品の一部の査定がありまして、4億4,711万9,000円の計上となりました。

最後に、就学援助事業ですが、小中学校ともに新たな援助項目として、クラブ活動費、卒業アルバム代の費用、これを要求していましたが、限られた予算の中で各事業の優先順位を勘案した結果、令和3年度の予算措置は見送ることとなりまして、4,390万6,000円の予算額となったところです。

説明は以上となりますが、学校教育課の予算は、主に学校運営に必要な基本的な経費になりますので、子どもたちの教育活動を支える大切な予算として、適正な執行、そして効率的な事業運営に努めてまいります。

○中井指導室主査 続きまして、指導室の予算について説明させていただきます。

資料1-2のページをご覧ください。

指導室は、九つの事業のうち、当初要求から変更になった三つの事業についてご説明いたします。

最初に、指導2、学び・心はぐくむ学校活動支援事業でございます。

当初見積金額から61万6,000円の減となりましたが、これにつきましては、補助金に対する961万4,000円の要求額が係数整理により、端数分の61万4,000円について査定され900万円になったことが主な理由であります。

次に、指導3、特別支援教育推進事業です。

当初予算要求では、特別支援教育支援員について、現在の25名から30名分の5名を増員した会計年度任用職員報酬を計上しておりましたが、増員についての協議は次年度以降に先送りとなり、来年度につきましても今年度同様の25名配置となったことから、5名分の報酬である793万4,000円の減となっております。

最後に、指導9、教育研究所運営事業です。

当初見積金額から5万4,000円の減となっております。1月定例教育委員会において、岩見沢市教育委員会における児童・生徒を対象とする医学系研究実施要項をご審議いただきましたが、この要綱に基づき、ロトレの調査研究を進めるに当たって設置する倫理審査委員会につきまして、予算要求時には令和3年度に設置を予定していたものを、今月2月25日に前倒しして設置することになったことから、倫理審査委員会委員報奨として計上していた5万4,000円が減額となっております。

指導室は、以上でございます。

○田公学校給食課長 それでは、学校給食課の予算について、ご説明いたします。

資料のページにつきましては、1-3になります。

まず初めに、給食1、学校給食共同調理所運営事業についてでございます。

事業費全体におきましては、1,269万2,000円減の6億2,691万2,00

0円となりました。主な内訳といたしましては、新型コロナウイルス対策といたしまして、配膳用の使い捨て手袋を要望しておりました、これをニトリル製から安価なポリエチレン製に変更したことによりまして、当初要望よりも1,214万4,000円減となっております。また、修繕料につきましても、現年度予算において予算流用を行い、緊急的な修繕を行ったこともありまして54万5,000円が減となっております。

次に、給食2、学校給食共同調理所車両運行管理事業でございます。

事業費全体におきましては、1,481万6,000円減の4,802万1,000円となりました。主な増減の内訳についてでございますが、まず、委託料につきまして、給食配送業務において従前からの食器・食缶の配送に加えまして、来年度からはパンの配送を加えたことによりまして、198万円の増となっております。また、備品購入費につきましては、給食配送車3台の入替えを要望しておりましたが、最終的には1台のみの更新となったことから、1,702万8,000円の減となっております。

学校給食課は、以上でございます。

○白石生涯学習・文化・スポーツ振興課長 続きまして、当課の査定状況について、ご説明をいたします。資料は同じく1-3下段からになります。

初めに、生文ス2、市民の学び支援事業でございます。

生涯学習推進事業におきまして、旅費3万3,000円と、岩見沢チャレンジスクールの会場借上料3万円がそれぞれ査定減となっております。

次に、資料を1枚めくっていただきまして、生文ス10、地域文化振興事業でございますが、これは18万9,000円の減となっております。新型コロナウイルス感染症対策として、囲碁教室における消耗品費が査定減となったものでございます。

次に、生文ス17、健康・スポーツ振興事業につきましては、201万7,000円の減となっております。メープル小学校で取組を始めて3年目を迎えます放課後小学生スポーツ教室に係る委託料の増額要望分が査定減となっているほか、B&G関連の会議出席のための旅費がゼロ査定となったものでございます。

次に、生文ス、社会教育施設等管理事業につきましては、社会教育施設が988万1,000円、社会体育施設が617万2,000円の減となっております。社会教育施設の減少の主なものといたしまして、生涯学習センター管理事業において、新型コロナウイルス感染症対策として清掃員の増員にかかる費用を要望しておりましたが、皆減。絵画ホール運営事業において老朽化しております館内暖房用ストーブの購入費用を要望しておりましたが、査定で減。市民会館文化センター管理事業におきまして、新型コロナウイルス感染症の影響による減収想定を見込みまして、委託料の増額要望をしておりましたが、指定管理受託当初の令和3年度見込額に変更となり、減少。それと合わせまして、施設改修、これは大ホールのつりものの改修を予定しておりますが、その改修に伴う休館の際の指定管理委託料の減額が入ったものでございます。

社会体育施設の減少の主なものといたしましては、体育施設管理事業のうち、北村体育

施設管理事業における芝刈り機の修繕要望、それからスポーツセンター、岩見沢トレーニングセンター運営事業における利用者の減少を見込んだ委託料の増額要望、それから鉄北地区スポーツ施設運営事業につきましては、市野球場の改修工事に伴う施設利用ができない期間の委託料の影響額の減少、温水プール、北村プール運営事業における固定経費について、利用者の減少を見込んだ指定管理委託料を増額したところでございます。

また、北村トレーニングセンター運営事業においては、施設の暖房に利用している赤川鉱山への負担金の減による委託料が減額となったものでございます。

なお、社会教育施設、社会体育施設共に、新型コロナウイルス感染症対策として、手指消毒や手洗いに要する消耗品の費用を増額要望しておりましたが、いずれも査定により減額となったところでございます。

私からの説明は、以上でございます。

○江末教育施設課主幹 教育施設課の予算状況について、ご説明をさせていただきます。

資料1－4ページをご覧ください。

初めに、教職員住宅管理事業でございます。

設計委託料は、市の建築技師が設計することにより、240万円の減額、借地料は積算の見直しにより5万円の減額、合計で245万円の減額となっております。

次に、外国語指導助手活用事業でございます。令和3年9月から、ALT5人分の住宅を借上げ貸与する予定をしておりましたが、9人分全員の処置をすることで、256万円の増額となっております。

次に、資料1－5ページをご覧ください。校舎等管理事業でございます。

修繕費は、緊急性が低いと判断されたものについて減額、工事請負費は積算内訳の見直し等により減額となっております。小学校費で165万5,000円の減額、中学校で489万9,000円の減額、合計で655万4,000円の減額となっております。内容といたしましては、志文小学校体育館地中熱ダストファン、北真小学校高圧ケーブル、豊中学校高圧ケーブル、東光中学校体育館窓開閉用オペレーターの修繕について、減額査定となっております。

次に、社会教育施設等管理事業でございます。積算内訳の見直し、緊急性の低いと判断されたものについて減額となっております。市民会館文化センター管理事業につきましては、文化センターエレベーター改修工事で2,420万円の減額、修繕料で20万円の減額、栗沢文化センター運営事業では、栗沢文化センター解体工事で1億4,800万円の減額、東山・岡山地区スポーツ施設運営事業では、備品購入費で1万4,000円の減額、鉄北地区スポーツ施設運営事業では、市野球場電気設備長寿命化改修工事で2億3,500万円の減額、温水プール・北村プール運営事業は要望どおりとなっております。合計いたしまして、4億261万6,000円の減額となっております。

次に、栗沢認定こども園運営事業でございます。栗沢認定こども園外構工事について、1,660万円の減額となっております。

教育施設課は、以上でございます。

○所社会教育・子育て支援担当次長 引き続き子ども課の予算変更部分についてご説明いたします。

初めに、子ども1、子ども・子育て支援事業です。

宿泊を伴う一時預かりであるショートステイの委託料について、令和2年度の実績に基づき増額要求していましたが、利用については不確定要素も多いため、前年同額として32万8,000円が減額となりました。

次に、資料1-6ページ、子ども4、児童厚生施設運営事業です。

予算要求の後、大雪の影響で春日児童館遊戯室の軒天が破損する落雪事故がありました。現在、応急処置をしておりますが、新年度雪解け後に修繕するため、修繕料が200万円追加になっています。そのほか、増額要望していた燃料費を前年並にするなどの件数の整理を行った結果、全体で129万円の増額となっています。

次に、子ども6、青少年育成事業です。

令和2年度から始まった子どもの体験活動補助金について、5件50万円に2件20万円増額要望いたしましたが、1年しか実績がなく、効果検証もできていないことから、前年同額として20万円の減額となりました。

次に、子ども7、留守家庭児童対策事業です。

長期休業中など指導員の欠員に備え、ボランティア指導員の謝礼を実績に基づいて増額要求していましたが、不確定要素も多いため、前年同額として3万3,000円が減額となりました。

次に、子ども8、保育所入所運営事業です。

令和3年度は、西保育園が新園舎を建築しますが、国庫補助確定後に補正対応することとなり、1億3,822万6,000円の減額となりました。これについては、6月の第2回定例会で補正要望する予定です。

最後に、子ども10、病児・病後児保育運営事業です。

除雪など、施設管理負担金の件数を整理し1,000円の減額となりました。

子ども課は以上でございます。

○中川図書館長 それでは、図書館の予算の変更状況について、説明をさせていただきます。

資料の1-7をご覧くださいと思います。

図書1、図書館活動運営事業でございますが、図書館先進地視察にかかる旅費11万8,000円について、全額減となったことによりまして、予算内示額が9,169万4,000円と減額となっております。

図書館は以上でございます。

○杉田緑陵高等学校事務長 緑陵高等学校の予算状況について、ご説明させていただきます。



資料1-7の下段部分になります。

緑陵1、学校管理事業につきましては、予算要求額から12万6,000円の減となりました。主な内訳につきましては、燃料費におけます年間使用量の調整及び消耗品の査定による減額、また、乗用草刈り機の修繕料を要求していたところですが、昨年来から修繕が重なるということ considering、備品での購入ということで、新たに備品購入費を計上し、これ相当部分の修繕料については皆減となったところです。

これによりまして、総額で、5億3,535万9,000円の予算となったところでございます。

続きまして、緑陵2、教材教具整備事業につきましては、439万円の減となりました。こちらにつきましては、大型提示装置の整備につきまして、備品購入費での予算要求をしていたところでございますが、リースによる整備ということでの予算変更に伴いまして、439万円の減額、総額で2,536万5,000円となったところでございます。

説明は以上でございます。

○三角教育長 ただ今、議案第2号についての説明がございました。委員の皆様からご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします。細かく区切っていきたいと思います。

まず、学校教育課について、何かご質問、ご意見等ございますか。

よろしいですか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 では、指導室について、何かご意見、ご質問等ございますか。

よろしいですか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 学校給食課について、何かご意見、ご質問等ございますか。

よろしいですか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 それでは、生涯学習・文化・スポーツ振興課について、ご意見、ご質問等ございますか。

よろしいですか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 教育施設課については、ご意見、ご質問ございませんか。

○菊池委員 栗沢文化センターの解体工事は、今年度はしないということで、来年度以降ということですか。

○所社会教育・子育て支援担当次長 解体が見送りになりましたが、解体がいつになるのかということについては現時点で決定していないため、お答えできません。金額が大きく財源等の問題がありますので、引き続き協議をしていくということで、今の時点でいつ解体しますというお返事ができないという状況でございます。

○菊池委員 かなり老朽化しており、壁が落ちてきたりということも想定されるので、そ

これを注意していただければと思います。

○所社会教育・子育て支援担当次長 危険のないように養生するため、若干の予算を見っておりますので、その中で対応していきたいと考えています。

○菊池委員 分かりました。ありがとうございます。

それに伴うので、こども園の外構工事もなしということですね。

○所社会教育・子育て支援担当次長 そうです。解体しないことには、駐車場の整備ができないという状況です。

○菊池委員 そうですね。分かりました。

○三角教育長 ほか、よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 それでは、続きまして、子ども課で、ご意見、ご質問等ございますか。

よろしいですか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 それでは、最後の資料1-7、図書館と緑陵高等学校、両方合わせて何かご意見、ご質問等ございますか。

よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 先ほど説明がありましたけれど、1,000円単位の査定もあり、限られた財源の中で有効に活用してまいりたいと考えていますので、どうかよろしく願いいたします。

それでは、この件についてご異議がなければ、このようなことで決定をさせていただいてよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 それでは、議案第2号につきましては、原案のとおり決定させていただきます。

なお、議案第2号については、市議会第1回定例会に諮られ、市議会の議決を経て、決定されます。

続きまして、日程番号3、議案第3号 令和2年度教育委員会関係補正予算についてを審議いたします。

説明をお願いいたします。

○戸沼学校教育課長 それでは、補正予算の関係について、学校教育課から順次ご説明させていただきます。

学校教育課の補正予算ですが、最初に、学習環境整備事業。これは、新型コロナウイルス感染対策に関する事業ということになりますが、国の令和2年度補正予算(第3号)の学校保健特別対策事業費補助金、これを活用いたしまして、学校における感染症対策用の物品の購入、教職員研修やデジタル教科書の整備などを行う費用として2,200万円を

計上しており、全て令和3年度に繰り越して執行する予定です。

次に、小学校教育用コンピュータ整備事業になりますが、GIGAスクール構想によるタブレット端末の整備に伴いまして、パソコン教室のパソコン更新を見送ったことから、未執行の使用料及び賃借料について、1,093万1,000円を減額するものでございます。

最後に、スクールバス運行管理事業になりますが、スクールバスの購入費用が入札によりまして予定を下回ったため、1,462万円を減額するものでございます。

学校教育課は、以上でございます。

○白石生涯学習・文化・スポーツ振興課長 続きまして、当課補正要望について説明をさせていただきます。

補正要望につきましては、いずれもコロナ禍における事業の縮小及び中止、または延期による事業費の減額に伴うものでございます。

補正の内訳といたしましては、市民の学び支援事業として426万8,000円、女性青年活動事業として65万7,000円、地域文化振興事業として173万9,000円、文化のまちづくり事業として300万円となっております。

順に説明してまいります。

最初に、市民の学び支援事業でございます。岩見沢市民大学分といたしまして、今年度は公開講座を2回実施したことから、それ以外の費用について、講師への報償費や旅費などの歳出177万2,000円、また、受講料の歳入として103万5,000円を減額しております。高齢者大学分といたしまして、今年度は事業が実施できなかったことに伴い、講師への報償費や旅費などの歳出202万1,000円、受講料の歳入140万7,000円を減額。また、「みんなで教育を考える日」といたしまして、講師への報償費や消耗品などの歳出47万5,000円を減額。事業全体では、歳出が426万8,000円、歳入が244万2,000円を減額補正したところでございます。

次に、女性青年活動事業ですが、1月10日に実施を予定しておりました成人の日記念式典を5月2日に延期したことに伴い、アトラクションの報償費、警備手数料、演出に係る委託料、会場使用料で合計65万7,000円を減額補正いたしました。

次に、地域文化振興事業ですが、全道依田こども囲碁大会及び高齢者文化祭の中止、市民文化祭の事業規模縮小、これは、舞台発表と茶席を中止し、展示と文芸発表のみ実施したことによるものでございます。これらに伴いまして、それぞれに対する補助金を合計で、173万9,000円減額補正したところでございます。

次に、文化のまちづくり事業です。例年であれば、この事業によりまして、10本程度市民への優れた文化芸術の鑑賞機会を提供しておりますが、中止した事業が4本、内容の変更が1本あり、補助金300万円を減額補正したところでございます。なお、この費用については全額ふるさとづくり推進基金で賄われております。

私からの説明は、以上でございます。

○江末教育施設課主幹 教育施設課の補正予算について、ご説明をさせていただきたいと思えます。

初めに、中学校校舎管理事業でございます。国の交付金を活用して、令和3年度に光陵中学校、清園中学校、校舎屋内体育館の屋上屋根外壁の改修工事を予定しておりましたが、国の交付金の令和2年度当初予算の追加募集及び令和2年度第三次補正予算により前倒しが可能になったため補正要望をするものでございます。令和3年度に繰り越して事業を実施する予定としております。

次に、学校プール事業でございます。今年度は小学校5校で学校プールの開設を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症防止対策として、全ての小学校でプール授業を取りやめたことで執行しなかった経費を減額補正しようとするものでございます。

説明は以上でございます。

○所社会教育・子育て支援担当次長 子ども課の補正予算要望について、ご説明します。

子ども・子育て支援事業では、子ども・子育て支援事業に対する令和元年度の国庫補助額が実績を上回っていたため、国庫補助金の一部を返還することになり、783万3,000円を増額要望いたします。

保育所入所運営事業では、各保育園、こども園に支払う運営費、これが公定価格の増や入所児童の実績に伴い不足すること。また反対に、障害児保育に係る特別保育推進事業が予算を下回ったことに伴い、不要となること。双方合わせまして、69万6,000円を増額要望いたします。

子育て施設等利用給付事業は、幼児教育と保育の無償化に伴う事業ですが、幼稚園の一時預かりの利用実績が予想よりも多く給付金が不足するため、69万5,000円を増額要望いたします。

青少年育成事業は、青少年健全育成基金への寄附金が3件30万円ありましたので、その積立のため、29万9,000円を増額要望いたします。

子ども課については、以上でございます。

○杉田緑陵高等学校事務長 それでは、緑陵高等学校の補正予算要望について、説明をさせていただきます。

資料の下段、特別会計の欄をご覧ください。

学校管理事業といたしまして、1,951万2,000円の減額補正要望でございます。内訳といたしましては、育児休業の取得や人事異動に伴う人件費の減額が生じることから、2,151万2,000円の減額要望、並びに国の令和2年度補正予算（第3号）学校保健特別対策事業補助金を活用し、学校の感染症対策物品を購入する費用としまして、200万円の増額要望をしようとするものでございます。

なお、このうち200万円の増額要望分につきましては、全て令和3年度へ全額繰り越すこととしております。

説明は以上でございます。

○三角教育長 ただ今、議案第3号についての説明がございました。委員の皆様からご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。全体を通して、何かございましたらご質問等お願いします。

よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 それでは、この件についてご異議がなければ、このようなことで決定させていただいてよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 議案第3号につきましては、原案のとおり決定いたします。

なお、議案第3号については、市議会第1回定例会に諮られ、市議会の議決を経て、決定されます。

続きまして、日程番号4、議案第4号 令和3年度教育行政方針の設定についてを審議いたします。

この部分については私から説明させていただきます。

まずは、目次をお開きください。令和3年度の教育行政方針について、昨年度との変更箇所を中心に、大まかに内容をご説明させていただきます。

目次についてですが、「はじめに」に続いて、「学校教育の推進」、「社会教育の推進」、「子ども・子育て支援の推進」、そして「おわりに」の構成としております。

それでは、1ページ開いていただいて、1ページ目「はじめに」では、私の教育に対する理念である「教育は、人を育てることを通して、未来を創造する営みです」を前提にして、「子どもたちの将来は」から、「時代に直面しています」と、今を生きる子どもたちの社会状況を押さえつつ、次代に生きるという子どもたちの将来を想定し、それに伴って育成する必要のある力について触れているところです。

また、令和3年度の岩見沢が目指す教育の姿を、今年度と同様「子どもが輝く岩見沢の教育づくり」としました。遡りますと、平成16年から20年まで「子どもが主人公の岩見沢の教育づくり」として教育行政を推進し、これを受けて平成21年から28年度までの8年間「子どもが輝く岩見沢の教育づくり」が推進されました。しかし、平成29年度「子どもが輝くための基軸を整えるために子どもを大切にする岩見沢の教育づくり」、そして平成30年度には「子どもを徹底して大切にする」、そして令和元年度には「子どもが主人公になる岩見沢の教育づくり」と順次推進してまいりまして、今年度「子どもが輝く」という目指す本来の教育づくりにつなぐという願いがありました。しかし、コロナ禍において、各校、今年度創意工夫しながら教育活動に取り組んできていましたけれど、想定とは異なることも多く、次年度も引き続き「子どもが輝く岩見沢の教育づくり」を目指していきたいと考えています。そして、また、その土台となる一人一人の子どもを尊重するという意識が前提に立つことによって、教育づくりの効果がさらに増すものと考えています。

そこで、Ⅱ「学校教育の推進」に入ります。「新しい時代に対応できる力の育成」では、

「教えて考えさせる」授業スタイルから、子どもが学びの主体となり、子どもの声が響き合う子どもの学びを形成する、「子どもと創る授業」の実践に取り組み、子どもの学習スキルの向上を目指します。また、カリキュラムマネジメントについて、状況を的確に把握し、目標を明確にしたという記載で、その手法をより具体的に記しています。

さらに、コロナ禍によって大きく進んだGIGAスクール構想において、一人一台の端末を効果的に活用する授業の構築に努めてまいります。

英語については、使える英語として、英語は子どもたちのツールとして役立つような実用的な教科としての実践に取り組みでまいりたいと考えています。

次に、豊かな人間性と健やかな体を育成する教育の推進では、ピア・サポート導入の狙いである、よりよい仲間づくりを加え、子どもの人格や人権を尊重した子どもを主体として、子どもに寄り添う日常指導に取り組み、問題対応の生徒指導だけではなく、日常の様々な指導を含む幅広い対応としたいと考えています。

また、岩見沢の子どもたちが岩見沢のことをよく知るための「ふるさと教育」、豊かな人間性や社会性を育む「心の教育」を意図的に取り組みでまいりたいと考えています。

「育ちと学びを支える教育環境の充実」では、教育支援センター、特別支援教育、教育研究所、学校の適正規模について、各施策の概要を記載しています。その中で、北海道大学COIとの連携事業に触れ、また、教育研究所については、その機能を明確にし、特色ある学校づくりでは、小中接続による一貫教育について初めて記載しています。

次に、信頼と期待に応える開かれた学校づくりでは、「学校における働き方改革」について、子どもと向き合い、子どもを徹底して大切に教育の実現に向けてと、その目的を押さえながら業務の見直し、改善について明記しています。

また、コミュニティ・エリア構想についても触れているところです。

緑陵高等学校の教育の充実、学校給食の充実では、昨年度取組を整理して文言を修正しております。

次に、Ⅲ「社会教育の推進」に入ります。

ここでは、昨年度策定された第2期岩見沢市社会教育中期計画の内容に触れる文章に変更しております。生涯学習の充実、芸術・文化活動の推進、スポーツ活動の推進、図書館運営の充実では、現状に沿うように文章を整理したところです。

Ⅳ「子ども・子育て支援の推進」に入ります。

子ども・子育て支援の充実では、第2期岩見沢市子ども・子育てプランの策定に伴い記載を整理するとともに、保育の無償化に伴って文章を整理しております。

子育て相談体制の充実では、コロナ禍における相談体制に触れつつ、「えみふる」の相談体制や、「えみふるファイル」の取組について記載しています。

放課後活動の充実では、放課後児童クラブにおける学校休業日の受入時間を延長したことについて触れております。

また、青少年健全育成の充実では、子どもを育てる活動に取り組む団体等への支援につ

いて記載しているところです。

最後に、「おわりに」では、「教育は人を幸せにする営みです」を結びにして、教育によるコミュニティの形成が、人づくり、まちづくりにつながる。「はじめに」で触れたように、教育が未来社会を創造するとともに、「おわりに」では、教育が個々の幸せに行きつくものであることを宣言しているところです。

こうした理念をもって岩見沢の教育づくりを進めていきたいと考えております。

以上で、令和3年度教育行政方針の変更点を中心にした概略を説明させていただきましたが、ご質問とご意見等ございましたらよろしくお願ひいたします。

それでは、委員の皆様からご意見、ご質問等がございましたらお願ひいたします。

これも分けていきましょうか。

まず、「はじめに」に関わって何かございますか。

よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 「学校教育の推進」に関わって何かございますか。

よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 「社会教育の推進」に関わって何かございますか。

よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 「子ども・子育て支援の推進」についてはいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 「おわりに」を含めて、全体を通して何かございますか。

よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 それでは、この件についてご異議がなければ、このようなことで決定させていただきます。よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 それでは、よろしくお願ひいたします。

続きまして、その他に移ります。委員の皆様から何かございませんか。

(「ありません」という声あり)

○三角教育長 特になければ、事務局から何かありませんか。

ほかになければ、来月の定例会の日程についてですが、3月17日が第3水曜日となりますが、委員の皆さんよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 午前10時からということでもよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 場所につきましては、であえーる岩見沢4階、この会議室1で行いたいと考えています。

それでは、以上をもちまして、第2回教育委員会定例会を終了させていただきます。

ご苦労さまでした。

午前10時53分 閉会

岩見沢市教育委員会会議規則第15条の規定により、ここに署名する。

署名委員